

# 経済動向調査

2024年7月～9月

景気・消費・需要等動向に  
関する情報の収集・整理

2024年10月

南佐久エリア商工会

臼田町商工会 佐久穂町商工会

小海町商工会 南相木村商工会

南牧村商工会 北相木村商工会

川上村商工会

# I 景気情報等の収集整理

- ・ 中小企業景況調査報告書

(全国：2024年7月～9月)

- ・ 小規模企業景気動向調査

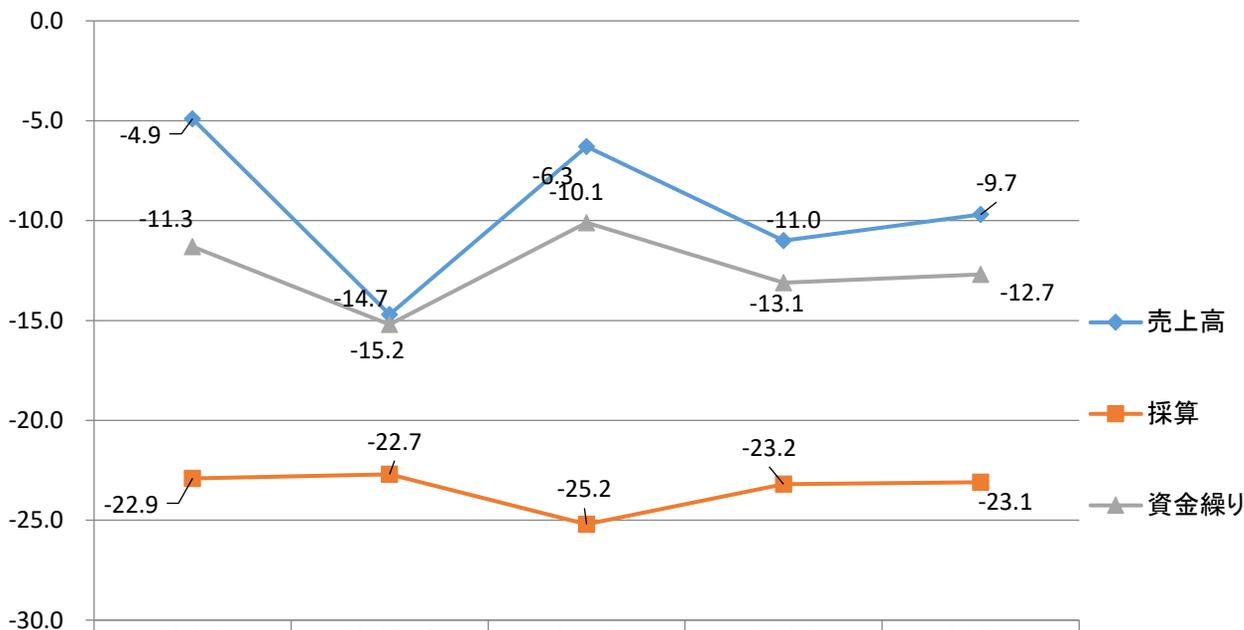
(近隣都道府県経営指導員のコメント：2024年7月～9月)

※DI(景気動向指数)は、各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す

## 〈全産業の現状と課題〉

コスト高・人手不足・災害の影響が続く中、回復基調は依然として不透明

主要景況項目の動き: DI(%)



	23.7-9	23.10-12	24.1-3	24.4-6	24.7-9
売上高	-4.9	-14.7	-6.3	-11.0	-9.7
採算	-22.9	-22.7	-25.2	-23.2	-23.1
資金繰り	-11.3	-15.2	-10.1	-13.1	-12.7

### 【経営指導員のコメント】

・ 全体として、現場受注の増加や価格転嫁により売上が増加している事業者が多いような印象を受ける。しかしながら、仕入費用、人件費等の各種経費もまた増加しているので、適切な価格転嫁及び生産性の向上など、最終利益を確保する経営計画が求められている。(長崎県諫早市商工会)

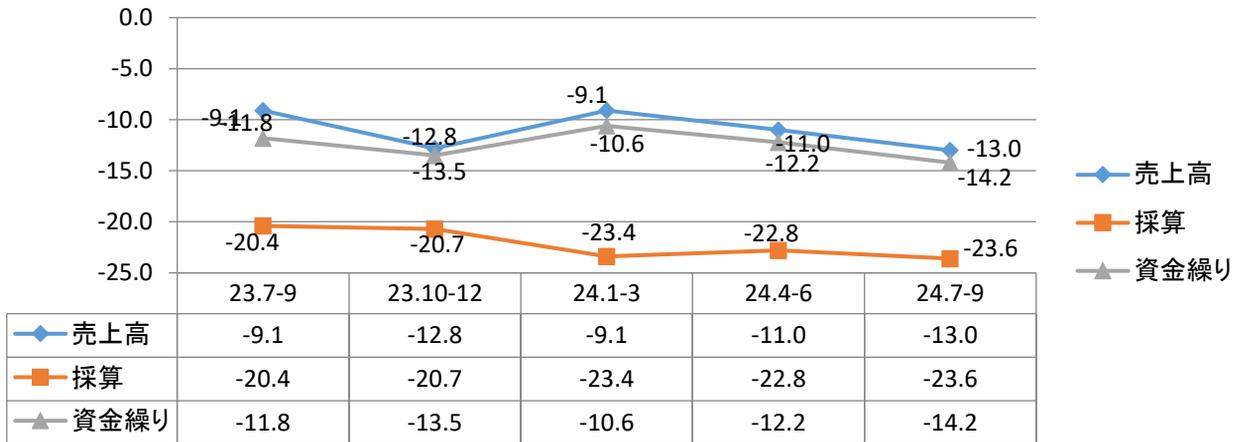
・ 各業種全般的にはポジティブに捉えているようだ。観光施設等の入り込みも全般的にプラス。(北海道小平町商工会) 足の影響が続くが、価格転嫁や支援策の活用を検討している事業者が増えている。(沖縄県本部町商工会)

・ 販売価格への転嫁により売上高は増加傾向にあるものの、その価格転嫁は充分とは言えず、また人員不足による受注体制の問題やそれを補うための防衛的な賃上げにも迫られ、物価高の中我慢の経営が続いている。(新潟県寺泊町商工会)

## 〈製造業〉

製造業では設備投資が進む一方、原価高と人件費の増加が収益を圧迫。

主要景況項目の動き:DI(%)



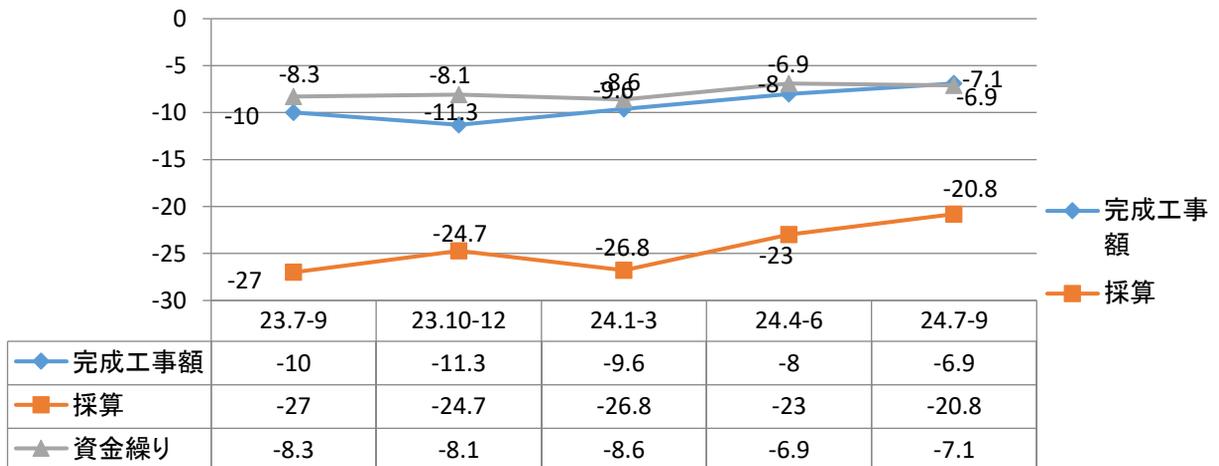
### 【経営指導員のコメント】

- ・コロナの際に資材が入りづらい状況が続いたことで、資材の購入や仕入の量を書く企業増やしていた。現在は通常通り仕入れられるようになったことで在庫が余るようになっており、各企業仕入量を調整している状況。売上にも影響している。（岐阜県恵南商工会）
- ・人手不足である。10月から最低賃金が上がると予想されている。人の確保が厳しい中、他の求人と差別化して人材を確保するには、企業はさらに上乘せを求められ、より従業員の確保が難しくなっている。（徳島県阿波市商工会）

## 〈建設業〉

公共工事とリフォーム需要が好調だが、資材費高騰が利益を圧迫。

主要景況項目の動き:DI(%)



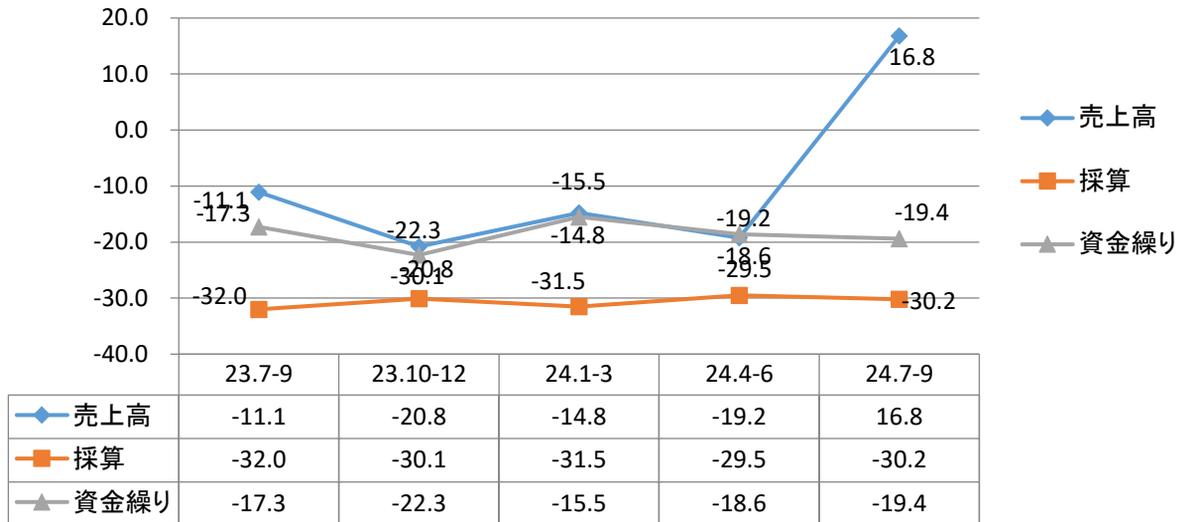
### 【経営指導員のコメント】

- ・建設業における仕入高は高止まりしているが、受注は徐々に増えている状況である。（青森県青森市浪岡商工会）
- ・仕事の依頼が切れまなく来ているが、さばける人材不足が慢性的になっているため、依頼を断らざるを得ない状況となっている。しかし、売上及び利益事態は上昇傾向が続いている。（岐阜県笠松町商工会）
- ・個人宅リフォーム需要が増加傾向にある。（埼玉県東松山市商工会）

## 〈小売業〉

季節需要とイベント復活で売上増が期待される状況。

主要景況項目の動き:DI(%)



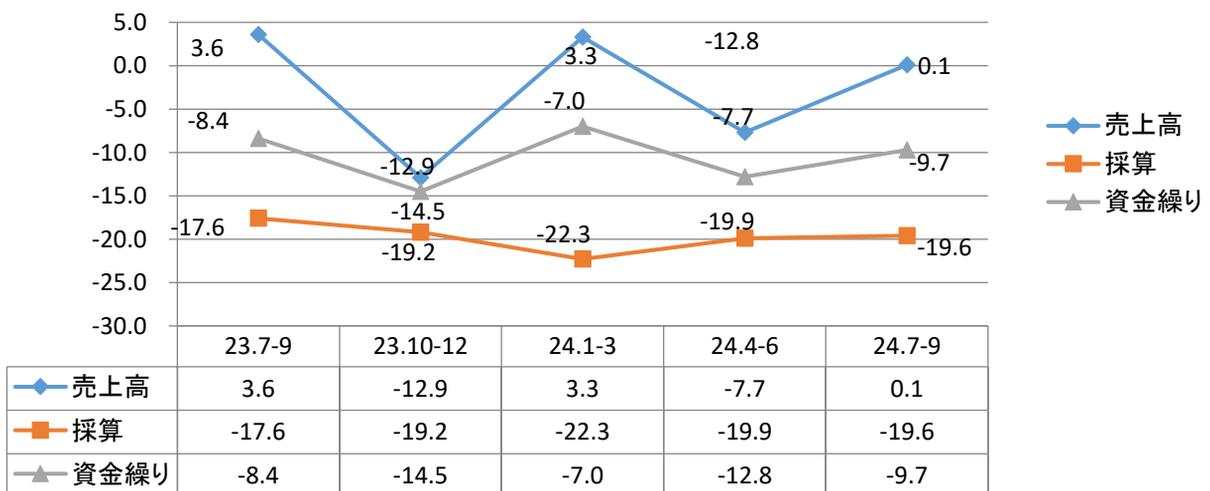
### 【経営指導員のコメント】

- ・家電小売業・工事業において、猛暑の影響による一般住宅のエアコン入れ替えは堅調であり、8月に入っても継続的に要請があるが、夏場を過ぎからの売上の落ち込みは懸念事項である。（東京都日の出町商工会）
- ・猛暑でエアコン需要が増加し販売が好調。（京都府木津川市商工会）

## 〈サービス業〉

観光業の回復が顕著だが、業種ごとに採算性にばらつき。

主要景況項目の動き:DI(%)



### 【経営指導員のコメント】

- ・観光体験施設で外国人客が増加傾向。（滋賀県栗東市商工会）
- ・冠婚葬祭需要が回復しクリーニング業が好調。（鹿児島県知名町商工会）
- ・理美容業で客単価上昇も採算が厳しい。（鳥取県北栄町商工会）
- ・地域イベント再開で売上増加傾向が見られる。（長崎県西そのぎ商工会）

## Ⅱ 行政の統計情報・民間の景況情報の収集整理

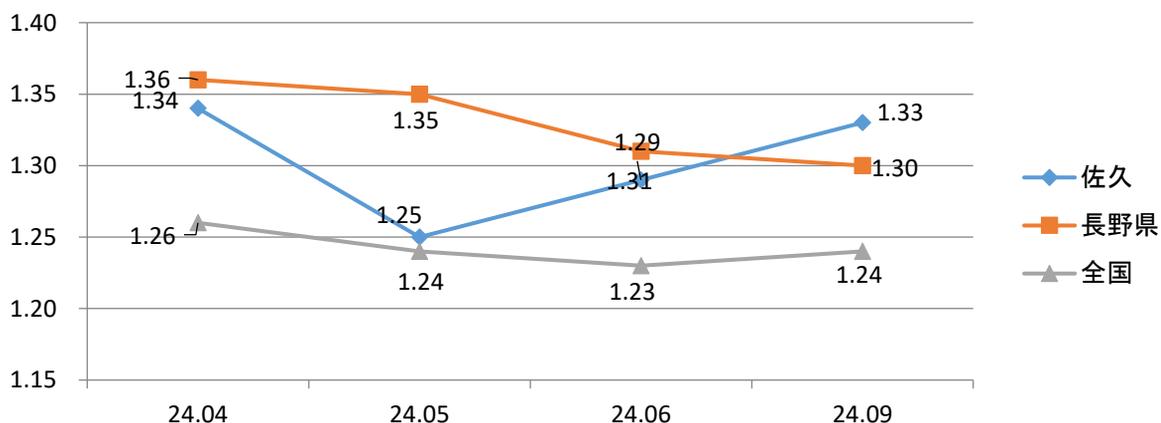
### 1. 人口動態

	人口			世帯数		
	2024.7.1 現在	2024.10.1 現在	増減	2024.7.1 現在	2024.10.1 現在	増減
佐久市全体	96,994	97,551	557	41,297	43,772	2475
佐久市臼田	12,462	12,604	142	5,538	5,647	109
佐久穂町	9,729	9,683	-46	3,943	3939	-4
小海町	4,122	4117	-5	1,863	1,866	3
南相木村	904	897	-7	399	398	-1
北相木村	699	693	-6	326	322	-4
南牧村	3,303	3284	-19	1,259	1,255	-4
川上村	4,563	4,562	-1	1,735	1,752	17

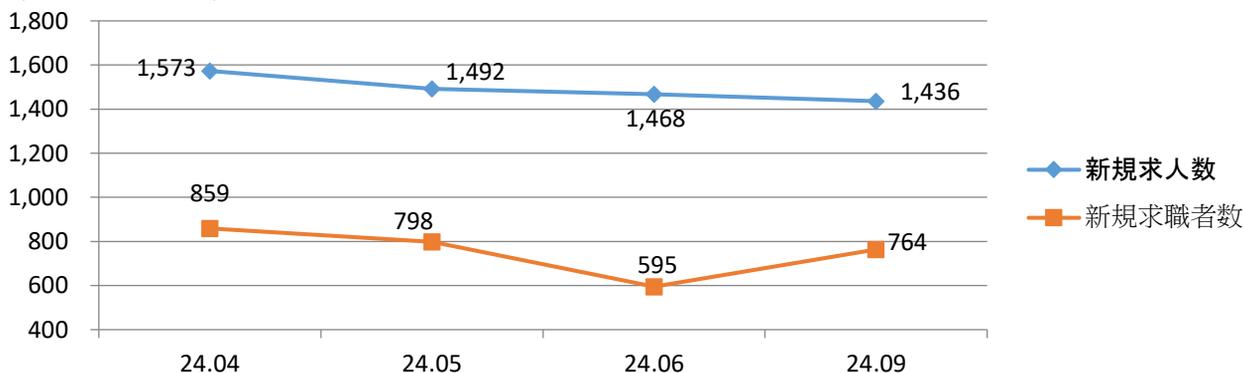
### 2. 雇用情勢

※（佐久）はハローワーク佐久と小諸出張所の合算値

#### ①有効求人倍率の推移（佐久・長野県・全国）



#### ②新規求人数と新規求職者数の推移（佐久）



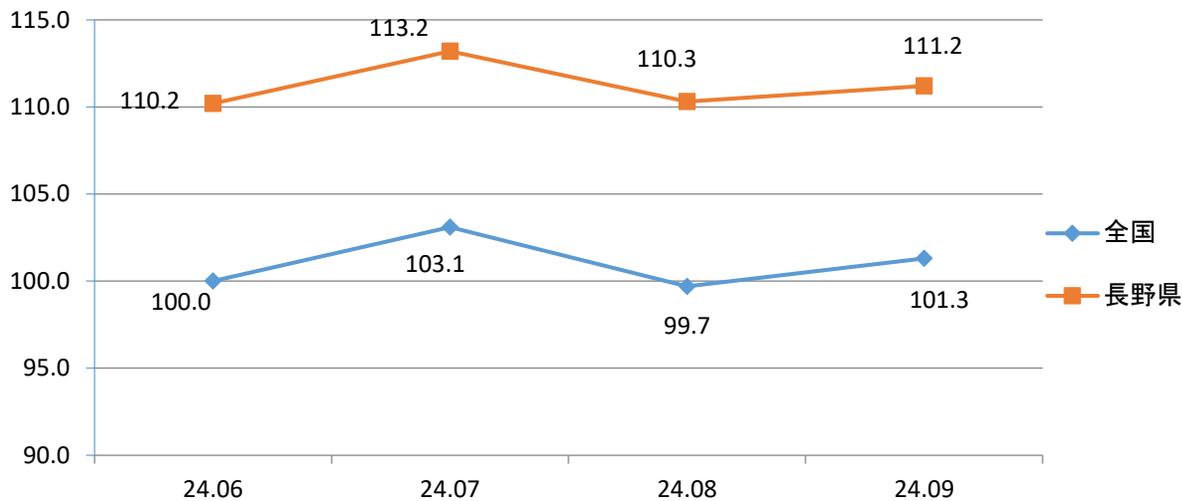
（資料）ハローワーク佐久「業務月報」

### 3. 生産動向

#### 鉱工業生産指数

※鉱工業生産活動の全体的な水準の推移を示します。

(季節調整済み指数) (2015年=100)

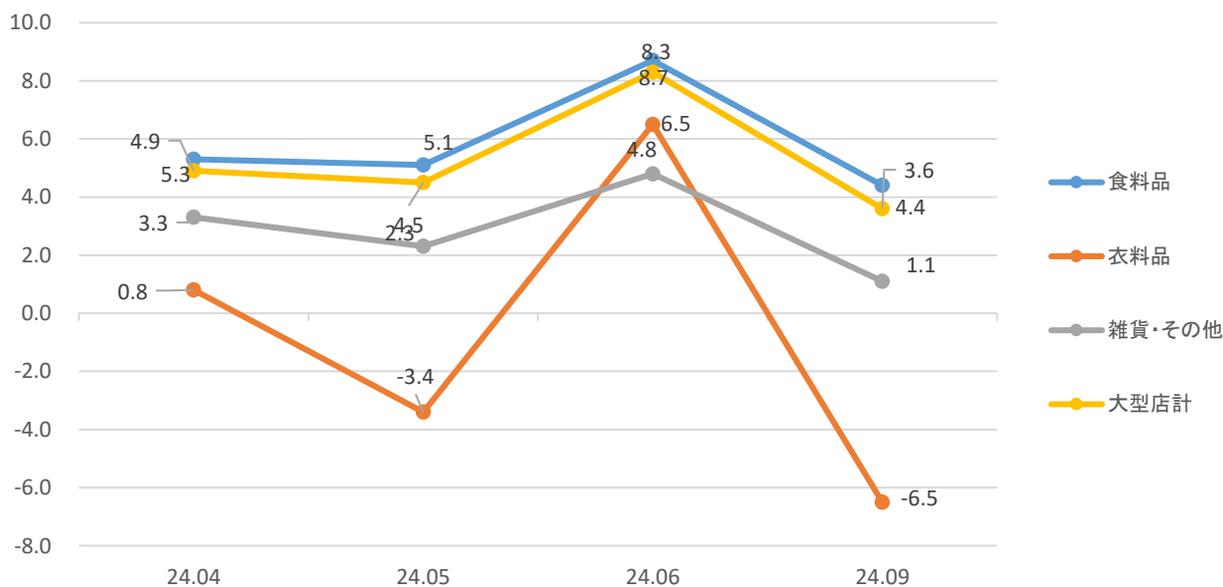


(資料) 長野県「長野県鉱工業指数」・経済産業省「鉱工業指数」

### 4. 個人消費

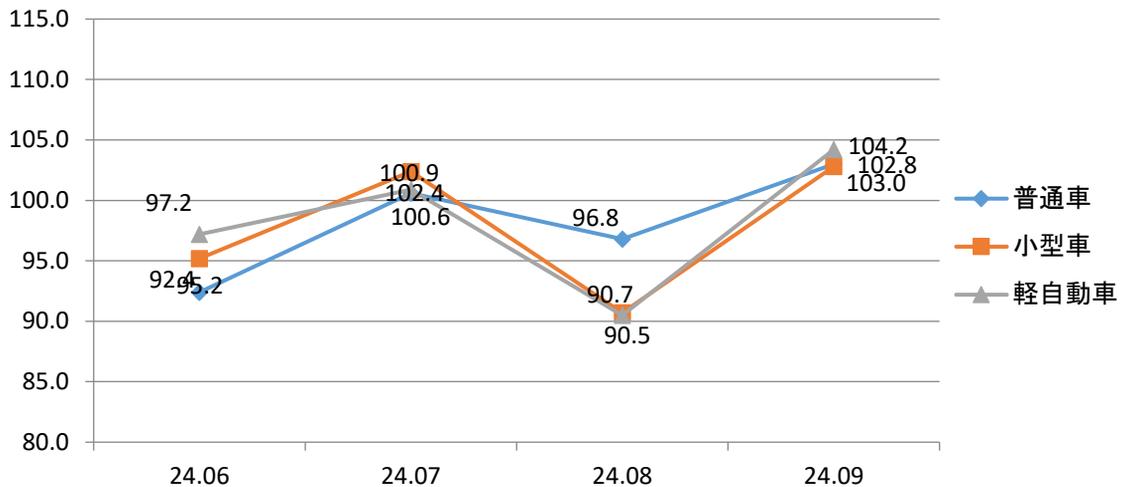
全体的に個人消費は堅調に推移。特に衣料品関係は行楽シーズンもあり好調。

大型小売店売上高 (売上高前年同月比)



(資料) 長野経済研究所「長野県内大型小売店売上高の動向」

## 新車登録台数前年比

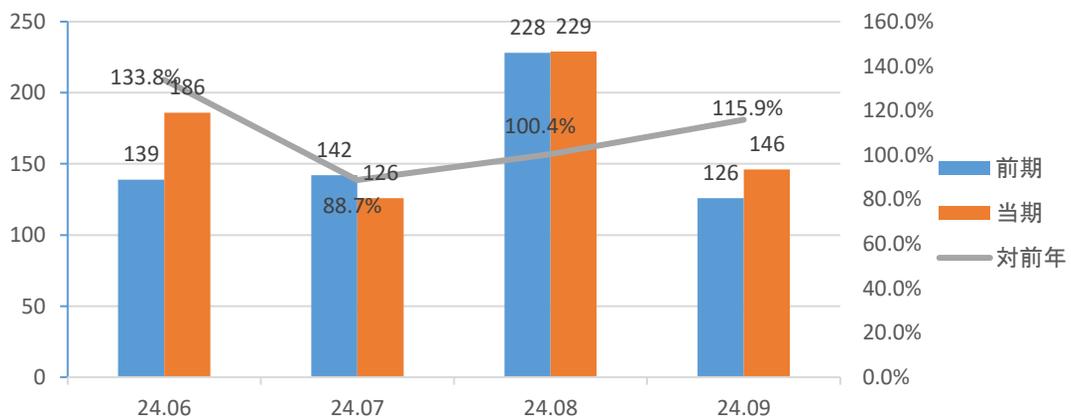


(資料) 北陸信越運輸局長野運輸支局「長野県における新車新規登録台数の推移」

## 5. 建設投資

着工戸数は、推移前年並みに推移

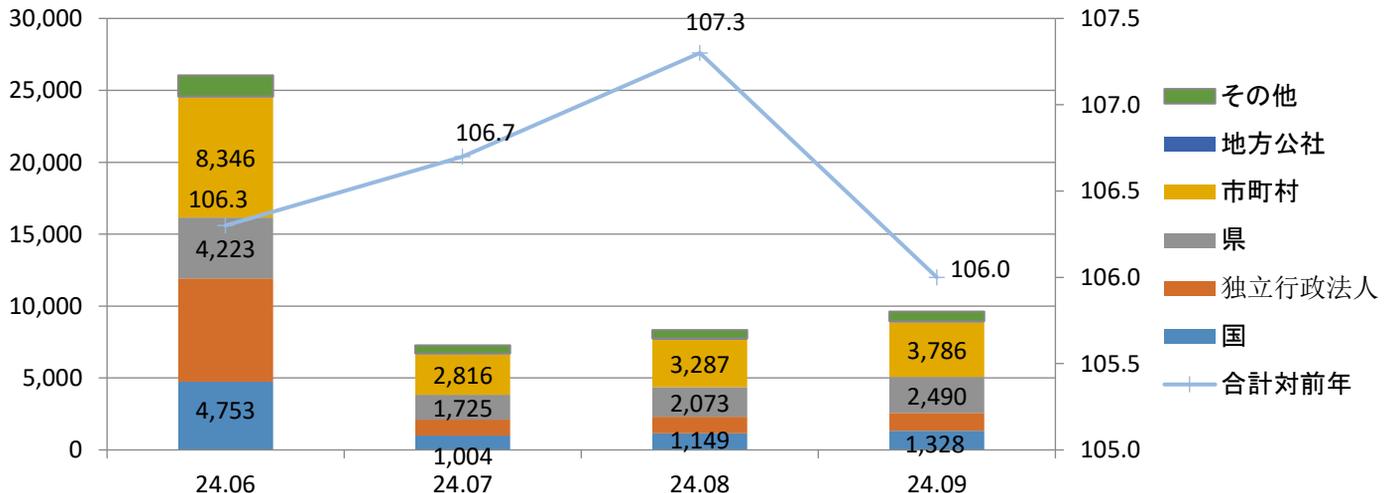
佐久地域月別着工戸数



(資料) 長野経済研究所「主要経済指標」

公共工事保証請負額は前年同月比で回復傾向で推移

公共工事保証請負額 (単位: 百万円、%)

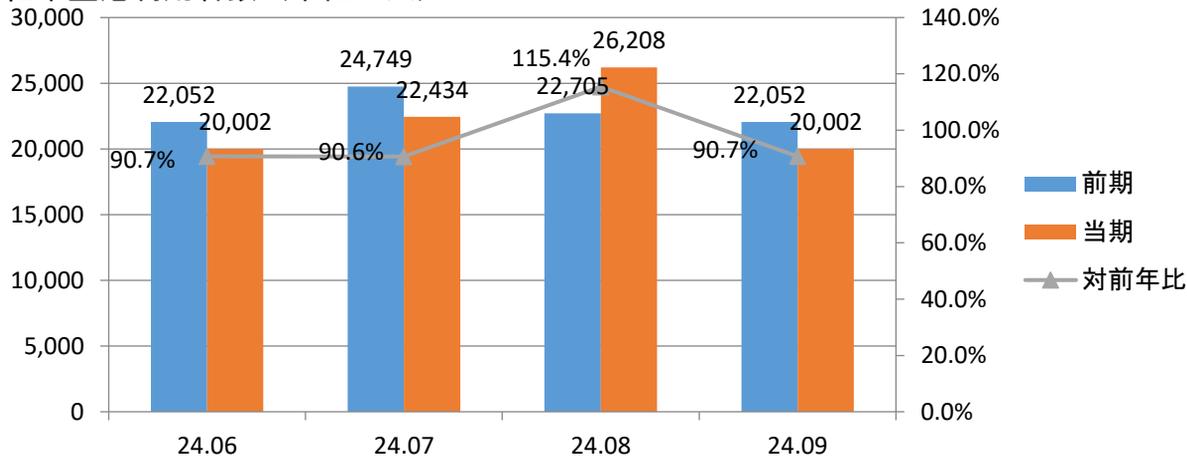


(資料) 東日本建設業保証株式会社「工事場所別・発注者別保証実績表」

## 6. 県内交通

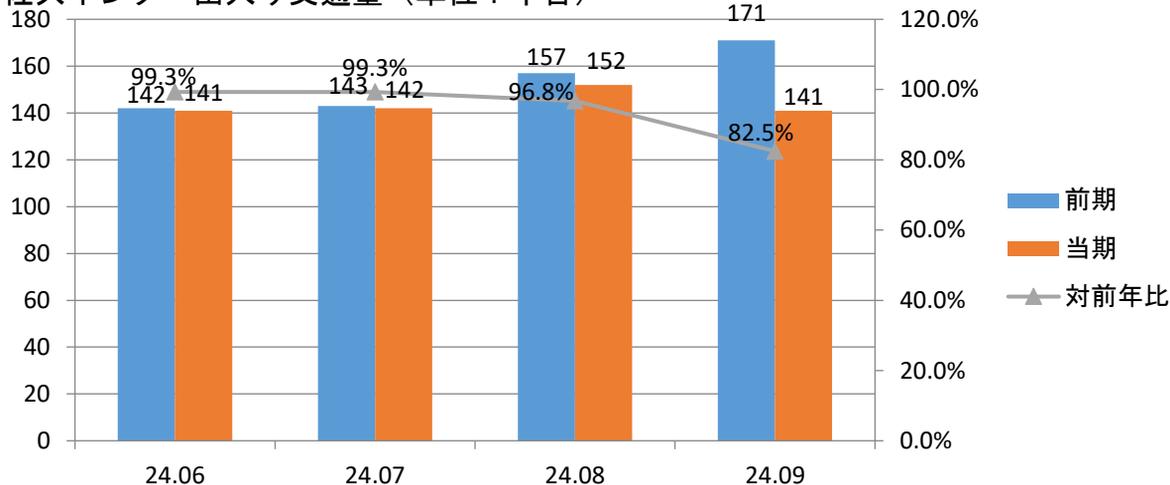
### 松本空港利用者は、前年並で推移

松本空港利用者数（単位：人）



### 佐久インター出入り交通量は前年並で推移

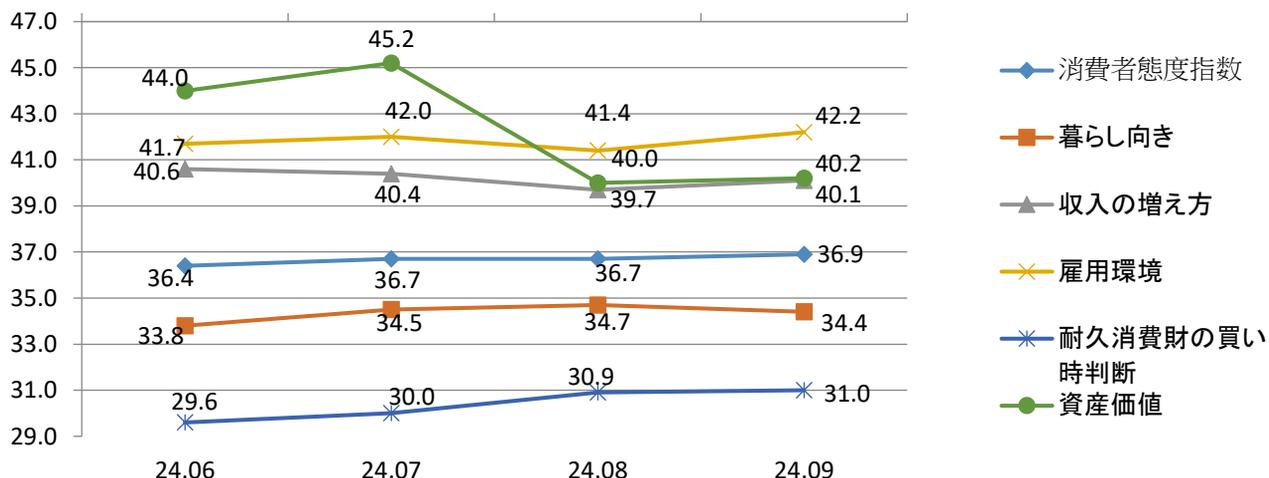
佐久インター出入り交通量（単位：千台）



（資料）長野経済研究所「主要経済指標」

## 7. 内閣府の消費動向調査

※消費態度指数：指数50が判断の分かれ目で、50を超えれば消費意欲が旺盛で、下回れば意欲が減退していることを表します。



（資料）内閣府「消費動向調査」

## 新紙幣、7月3日に発行 デザイン刷新は20年ぶり

2024年7月3日 日経新聞

20年ぶりとなる新しい紙幣が3日に発行され、日銀から金融機関への引き渡しが始まりました。銀行の支店では、新紙幣に両替しようとする多くの利用客が集まりました。東京・日本橋にある日銀本店では、3日朝に新紙幣の発行にあわせて記念の式典が行われました。20年ぶりに刷新された紙幣には、一万円札に渋沢栄一、五千円札に津田梅子、千円札に北里柴三郎の肖像がデザインされている。

## 株価 終値として初の4万2000円台 史上最高値を更新

2024年7月11日 NHK

東京株式市場は、アメリカで株価が上昇した流れを受けて買い注文が広がり、日経平均株価は終値として初めて4万2000円台をつけ、史上最高値を更新した。11日の東京市場では、取り引き開始直後から半導体関連など幅広い銘柄に買い注文が広がり、日経平均株価は一時、500円以上値上がりして4万2400円台をつけ、取り引き時間中の最高値を更新した。

## 日経平均、最大の下げ 終値4451円安の3万1458円

2024年8月5日 日本経済新聞

5日の東京株式市場で日経平均株価は3日続落し、終値は前週末に比べ4451円28銭（12.40%）安の3万1458円42銭だった。2023年10月31日以来の安値。米景気の先行き懸念や為替の円高加速を受け、相場は下落が止まらず、売りが売りを呼ぶ展開となった。下げ幅はブラックマンデー翌日の1987年10月20日（3836円安、14.9%安）を超え、過去最大となった。下落率は過去2番目の大きさだった。

## 8月消費者物価、2.8%上昇＝コメ49年ぶりの上昇幅

2024年9月20日 共同通信社

総務省が20日発表した8月の全国消費者物価指数（2020年＝100）は、価格変動の大きい生鮮食品を除く総合指数が108.7と、前年同月比2.8%上昇した。上昇は36カ月連続で、伸び率は4カ月連続で拡大した。品薄などでコメが約49年ぶりの高い上昇率となったことや、電気代の値上がりが押し上げに寄与した。主食用を含む米類が28.3%プラスで、1975年9月の49.5%プラス以来48年11カ月ぶりの上昇幅を記録した。同省は、昨年の猛暑による流通量の減少などで価格上昇が続く中、地震や台風に備えた買いだめも相次ぎ、供給不安の広がりが一段と価格を押し上げたとみている。コメのほか原材料価格の上昇でチョコレートが12.7%伸びるなど、生鮮食品を除く食料は2.9%上昇した。電気代は26.2%、都市ガス代は15.1%それぞれプラスとなった。政府による補助金が、いったん終了したことが響いたが、8月使用分（9月請求分）から補助金の支給を再開するため、上昇幅は今後縮小する見込み。ガソリンや灯油は前年同月比で下落に転じた。生活実感に近い生鮮食品を含む総合指数は3.0%、生鮮食品とエネルギーを除く総合指数は2.0%それぞれ上昇した。

# 参考資料

- **全国商工会連合会**  
「中小企業景況調査報告書」  
「小規模企業景気動向調査」
- **ハローワーク佐久**  
「業務月報」
- **長野経済研究所**  
「長野県内大型小売店売上高の動向」  
「主要経済指標」
- **北陸信越運輸局長野運輸支局**  
「長野県における新車新規登録台数の推移」
- **東日本建設業保証株式会社**  
「工事場所別・発注者別保証実績表」
- **内閣府**  
「消費動向調査」
- **経済産業省**  
「鉱工業指数」
- **長野県企画振興部情報政策課統計室**  
「長野県鉱工業指数」
- **その他メディア**  
日本経済新聞、共同通信、時事通信、NHK